



さまざまな蛇口タイプに加え、高除去性能タイプをはじめとする3種類の浄水カートリッジが選べる「みず工房」は、新築分譲マンションでの採用率6割、累積顧客数100万件にも達しています



## 福岡県北九州市

— 今回の訪問先 —  
株式会社タカギ



創業以来、北九州市を拠点に事業展開しているタカギ(本社・工場)



「水キレイ教室」のキャラクター・タカギ博士は、タカギの協賛で北九州において開催された「TGC KITAKYUSHU 2015」(東京ガールズコレクション)でも注目の的となりました

## 創意工夫と開拓者精神で「水」にこだわる 北九州発のモノづくり企業

1961年の創業以来、北九州市に本社・工場を置く、株式会社タカギ(以下、タカギ)は、生命の源、「水」にこだわってモノづくりに取り組んでいます。創業当時は、プラスチック中空成型機および金型を製造していましたが、1977年ごろに事業の主力をガーデニングや洗車などに使う散水用品の製造・販売へと移しました。現在は、この散水事業に加え、蛇口一体型の浄水器事業を中心に、グローバルに展開するなど急成長を遂げています。

散水事業を始めるきっかけとなったのは、高城 寿雄社長による「これからは水の時代が来る」というひらめき。これまで培った成形技術の活用と「人の暮らしに快適と潤いを与え社会の発展に貢献する」という経営理念に沿った商品として散水用品を開発、販売を始めました。1980年に発売した水の出方を5種類に変えられる散水ノズル「ノズルファイブ」が、折からのガーデニングブームに乗って大きな反響を呼び、今では国内シェアトップクラスのメー

カーとして市場をリードしています。

また「水」へのこだわりから浄水器事業にも参入。1999年10月1日に販売を開始した蛇口一体型の家庭用浄水器「みず工房」が大ヒットしました。「みず工房」は、業界で初めてハンドシャワー水栓のグリップに浄水器を内蔵した製品で、浄水でシャワーが使えるほか、カートリッジ内蔵の殺菌セラミックが雑菌の増殖を抑制するため、使い始めの捨て水が不要という特長をもっています。こうした使いやすさと環境に配慮した機能が認められ、新築マンションでの採用率は

業界トップクラスとなっています。

200件以上の特許・実用新案を取得するなど、独創的なアイデアと高度な技術力でモノづくりに取り組むタカギは、アフターサービスにも高い信頼性を維持する体制を構築しています。年中無休・24時間対応のコミュニケーションセンターを設置、浄水カートリッジの定期交換サービス(有償)、登録メンバーへの5年間の無償修理対応や5年ごとの浄水器本体の無償交換など、安全・安心なおいしい水のある暮らしをサポートしています。

そんなタカギが近年力を入れてい

るのが地元・北九州への恩返し。北九州マラソン※では、ランナーへの浄水提供が喜ばれています。また、2015年から開始したのが「水キレイ教室」という工場見学。実験なども盛り込んだ体験型の工場見学で、子どもたちだけでなく大人にも人気です。

2020年、本社・工場と市内に分散する拠点の移転・集約を同じ北九州市内で予定しているタカギ。今後も水を通して人の暮らしに活力をもたらす企業として新たな価値を創造していくことでしよう。

※ 2016年は、2月21日開催



ISO9001の認証に基づく改善活動をはじめ、製品の設計開発からアフターサービスにいたるまでトータルな品質システムを確立しています



年中無休で受付可能なコミュニケーションセンターを設置するなど、タカギはお客様とともに歩むパートナーをめざす取り組みを推進しています



北九州マラソンでは、「みず工房」でつくった浄水を給水所で提供し、1万人を超える市民ランナーののどを潤しています



体験型の工場見学「水キレイ教室」では参加者に、家庭でできる「水実験キット」などをプレゼントしています



## 私たちの職場周辺はこんなところです!

展望室からの夜景が  
とても癒やされます



総務部 総務課  
菅野 滋之さん

北九州市には見どころがたくさんありますが、私のイチオシは門司港です。明治時代後半から国際貿易港として栄えた門司港は、旧門司税関をはじめ、当時の面影を残すレトロな建物が立ち並び、市内屈指の観光スポットとなっています。「焼きカレー」や「ふく料理」など当地ならではのグルメもお勧め。また、関門海峡を見渡せる高さ103mの門司港レトロ展望室から望む夜景も必見ですよ。



### 拠点 DATA

#### 株式会社タカギ

所在地 福岡県北九州市小倉南区石田南2-4-1

設立 1961年5月

事業内容 家庭用園芸用品、家庭用浄水器、省エネ商品の開発、製造、販売、プラスチック射出成型加工、金型事業

<http://www.takagi.co.jp/>



「地域や社会への貢献を忘れずに、  
お客様の毎日を笑顔にする  
モノづくりに挑戦し続けます」



水に関する環境課題が世界規模で広がる中、高度な節水など、水の役割をつくり、社会の声に応えていくことが当社の使命だと考えています。今後はグローバルな貢献をめざす一方で、地元への貢献もいっそう力を入れていきます。新しく始めた工場見学もその一環です。また、道路拡張計画や生産の効率化を背景に、現在計画している新工場の建設場所も、地域の活力を取り戻すことをねらい、北九州市に決定しました。新工場建設に伴い設置される多目的グラウンドは、社員の福利厚生を目的とするだけでなく、地元住民の皆さまに開放する予定です。地元へ愛される企業をめざすという初心を忘れることなく、お客様に喜ばれるモノづくりに挑戦していきます。



総務部 総務課 課長 春高 慎二さん